

別 紙

第53回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 4 分科会	演題番号	4 1 0
題 名	安倍川下流域における井戸水・湧水の水同位体比・温度特性		
所 属	環境衛生科学研究所		
氏 名	○神谷 貴文、大山 康一、伊藤 彰*、鈴木 光彰、小郷 沙矢香、香田 梨花、伏見 典晃、村中 康秀 *現：環境局 生活環境課		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>当研究所では、近年、新たな地下水活用方法として注目されている地下水熱利用を推進するための適地マップ作成を目的として、安倍川下流域に位置する静清地域の地下水の起源や涵養域、地下水流動範囲を推定するための調査を実施している。本発表では、井戸水や湧水を対象とした調査のうち、地域ごとに特徴がみられた水同位体比及び水温の測定結果について報告する。</p> <p>降水の水同位体比はその高度や地理的条件で値が異なるため、表流水や地下水の起源を推定するための有効な指標となる。安倍川の水同位体比は静清地域内の降水の同位体比と比べて低く、静岡平野に位置する安東、中島自噴帯では安倍川と同程度の低い値を示すことから、この地域の地下水帯水層が安倍川によって涵養されていることが示された。一方、静岡平野と清水平野の境界付近にある瀬名自噴帯では水同位体比が比較的高く、長尾川や日本平の湧水、地下水と同程度の値を示すことから、周辺の降水が主な涵養源であることが示唆された。</p> <p>安倍川に近い地下水では水温の季節変動が観測され、河川水の温度変化の影響を受ける扇状地特有の傾向がみられた。また、安倍川から遠い井戸では水温が高くなる傾向がみられ、静清地域内で地下水熱ポテンシャルに差があることが明らかになった。</p>		